

令和5年度 芭露学園だより 第7号

令和5年10月25日発行

水芭蕉



本校の教育目標

「自ら学び 夢と希望をもって 進んで行動する子ども」

『利他の心』

～他者を喜ばせる・幸せにする～

このまま秋がやってこないのではと思わせる暑さもようやく終わり、秋らしい過ごしやすい気候となっています。近頃は朝晩の冷え込みも厳しくなってきました。

秋を告げるといえば、この地区では『お祭り』になるでしょうか。新型コロナウイルス感染症の大流行もようやく収まり、各地で4年ぶりの参集による神社祭が行われました。芭露・計呂地・上芭露の宵宮祭・神社祭には、本校の児童生徒も地域の一員として参加し、法被をまとい、ねじり鉢巻きをして神輿や賽銭箱を担いでいました。みんな、カッコよかったです！子どもたちの学校にいる時とは違う表情が見られて、私はとっても嬉しくなりました。教師の醍醐味ですね。

その中において、私が見習わねば！と感じたことは、各地区でお祭りを運営している大人たちの情熱です。それぞれが自らのお仕事がありながらも、地域の伝統行事を成功させよう、子どもたちに楽しんでもらおうと一所懸命でありました。私は、そんなみなさんと時間をともに過ごすうちに、「ああ、『利他の心』がいっぱいだなあ」と感じていました。

では、『利他の心』って何でしょうか。昨年8月にお亡くなりになられた、京セウの創業者で多くの方々から親しまれた稲盛和夫さんは『利他の心』を大切にされていた方です。彼は『利他の心』について、次のように述べています。

私たちの心には、「自分だけが良ければいい」と考える利己の心と、「自分よりも他の人のために役立つことをしよう」とする『利他の心』があります。利己の心で判断すると、自分のことしか考えていないので、誰の協力も得られません。自分中心ですから視野も狭くなり、間違った判断をしてしまいます。

一方、『利他の心』で判断すると、「他を利する＝他者を喜ばせる・幸せにする」という心ですから、まわりの人が協力してくれます。また、視野も広がるので、正しい判断ができるのです。良い仕事をしていくためには、自分だけのことを考えて判断するのではなく、周りの人のことを考え、思いやりに満ちた『利他の心』に立って判断すべきです。

(稲盛和夫オフィシャルサイトより)

「利己」も「利他」も自分の心の中にある。だからこそ、「自分よりも他者を」と考え行動することは難しいことなのかもしれません。でも、「情けは人のためならず」＝「人に情け（相手を思いやる気持ち）をかけて行動したことが他者の喜びにつながり、巡り巡って自分にも善い結果となって返ってくる」のです。いや、地域の運営のみなさんは、見返りなんて期待していないでしょう。みんなの喜びに夢中になっただけ。いつか、何らかの形で自分に返ってきたら…。素敵です。

私たちのお祭り＝第6回文化祭も、児童生徒の一所懸命な心、利他の心でいっぱいの心温まるお祭りでありました。文化祭の様子は次号でお知らせします。一人一人が個性を発揮しつつ『利他の心』を発揮できる、そんな子どもたちを、地域のみなさんと一緒に育てていければと思います。



9/20 児童芸術鑑賞会(1~4年)

町教委主催の行事です。さざ波で行われました。今回は、「ストリングラフィ」という巨大な糸電話をたくさんつけたような不思議な楽器の演奏を聴きました。踊るように息の合った動きで見事に曲を奏でる演奏者の姿に子どもたちは感動していました。



↑体験している代表の2人↑

9/23 産業まつりでの太鼓演奏

8・9年生の6名が湖陵太鼓を演奏しました。演奏前は雨が降りそうな微妙な空模様でした。しかし、威勢のよい太鼓の音が雨雲を吹き飛ばしたようで、雨に当たらずに見事な演奏を披露し、産業まつりのオープニングを飾ることができました。大勢のお客さんの前で堂々と演奏する姿はとても立派でした。



9/25~27 愛の声かけあいさつ運動

7月に続き2回目の実施です。今回はPTA以外に民生児童委員や保護司会、JA女性部などのたくさんの方々が玄関前に集まり、あいさつ運動を行いました。いつもは誰もいない玄関に、たくさんの方がいるので、子どもたちは少し照れたような面持ちでしたが、あいさつをしっかりと返していました。ご協力いただいた関係者の方々にこの場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。



9/25 こころのライブ授業

北海道いのちの電話事務局長の杉本明さんとロックバンド「ナイト de ライト」による道徳特別授業「こころのライブ授業」がゆうべつ学園で行われ、芭露学園の5～9年生も参加しました。命について改めて考えさせられる杉本さんの講話と、メッセージ性の強い「ナイト de ライト」の曲のライブでとても充実した授業となりました。



9/25 生徒会役員選挙

25日、生徒会役員の所信表明演説会が行われ、会長候補の久保拓夢さん、副会長候補の上田陽斗さんとそれぞれの責任者が演説を行いました。2人は拍手で承認され、当選となりました。芭露学園第7期の生徒会役員として、持てる力を存分に発揮して頑張りたいと思います。

会長候補 久保拓夢さん(8年)



副会長候補 上田陽斗さん(7年)



9/26 職場体験学習

26日、湧別町の中学3年生が職場体験学習を行いました。倅恵さんは芭露保育所に、すすさんと天さんはチューリップの湯に、そして俊作さんは沢口産業を訪問し、それぞれの職場で仕事を体験してきました。今回の職場体験を通して感じたことをこれからの進路や将来の職業選択に活かしてほしいと思います。





11月の行事予定



学校ホームページの
QRコードです。
ぜひご利用ください。

日	曜	主な行事予定	部活動
1	水	生徒会役員認証式 委員会	
2	木		
3	金	文化の日	
4	土		
5	日		
6	月	分掌部会 英検ジュニア（6年）	
7	火		
8	水	クラブ 学力テスト（7～9年） JA青年部出前授業（1・2年）	
9	木	8年総合「土器づくり体験」	
10	金	参観日（7～9年）	
11	土		
12	日		
13	月	委員会（昼） 研修日 定時退勤日	
14	火	委員会（昼） 進路個人面談①（9年）	
15	水	委員会 進路個人面談②（9年）	
16	木	進路個人面談③（9年）	
17	金	進路個人面談④（9年） わくわく号 特別支援部会 特支合同運動会	
18	土		
19	日	テスト前部活動中止（～21日）	部活なし
20	月	生徒総会	部活なし
21	火		部活なし
22	水	後期中間テスト	
23	木	勤労感謝の日	
24	金	委員会	
25	土		
26	日	PTA実技研修会	
27	月	職員会議 定時退勤日 租税教室（6・9年）	
28	火	三者懇談①	
29	水	芭露学園公開研究大会	
30	木	三者懇談②	